

平成30年度事業計画

公益財団法人 滋賀県国際協会

1 基本方針

滋賀県の外国人人口は、平成29年末には26,533人で、前年と比べて1,493人の増加となった。また、国籍数は93カ国1地域であり、依然多様化している。日本国内の在留資格別割合をみると、「特別永住者」と「永住者」の割合が半数近くとなっている。

このことから、幅広い生活情報の提供により外国人が自立して生活できるようサポートすることや、外国にルーツを持つ子どもを次世代を担う大切な人材として育成するための教育および地域で育てる環境づくりが一層必要となっている。

また、近年、国際交流ボランティア活動や外国人住民との共生に伴う地域の課題などに対する社会的関心の高まりから、国際交流や国際協力、多文化共生の地域づくりなどの取組を主体的に行う県民や市民活動団体が増え、その活動も活発化している。

今年度は、こうした社会情勢や地域の状況を踏まえ、基盤の充実と業務の効率化を図りつつ、県内における国際交流活動や多文化共生社会づくりを推進する中核的組織として、市町の国際交流協会との役割分担を明確にし、広域的・専門的な課題に取り組む。また、県民や市民活動団体、企業、行政と連携・協働し、地域の特性を生かした活動を展開する。

さらに、第2期中期計画に沿って、改めて、自らの使命と展望を明確にし、「国際感覚に優れたひとづくり」、「多文化共生の地域づくり」、「ボランティア、市民活動団体の活動促進」および「情報収集・提供による環境づくり」を目指し、総合的・計画的に事業を推進する。

2 事業計画

(1) 地域での国際教育の推進

次世代を担う子どもたちをはじめ、すべての地域住民が、地球規模の課題や地域課題の解決に向けた取組を始めることができるように、ファシリテーター（進行役）の養成やオリジナル国際教育教材の研究、普及啓発を行い、当協会がコーディネーター役として、国際教育の普及、促進に努める。

(2) 国際交流の推進

ア 姉妹友好州省および友好地域との交流

姉妹友好州省やその他友好地域との交流を促進するため、使節団等の派遣・受入を行う。特に今年度は、ミシガン州との姉妹友好交流50周年や湖南省との友好提携35周年を迎えることから、各種記念事業を県と連携して実施する。

イ ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営

ミシガン州立大学連合日本センターの施設管理および運営の支援事業を滋賀県から受託し、日本センターの円滑なプログラム推進および滋賀県とミシガン州との文化、教育等の交流促進を図り、地域における国際交流の拠点づくりに努める。

ウ 裾野を広げる国際交流

留学生や地域で活躍する外国人住民などと交流し、異文化体験する機会を設けることにより、国際理解を促進し、国際交流に関心を持つ県民の裾野を広げる。

(3) 国際協力の促進

ア 海外技術協力の推進

海外からの技術研修員を受け入れ、専門技術の習得の機会を提供する。

(4) 多文化共生の地域づくり

ア 外国人住民への支援

外国人住民を対象に、地域社会で共に暮らすための情報提供や県内での生活等に関する相談に対し必要な助言を行うとともに、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語（タガログ語）および英語による相談を行う。併せて、各種情報を提供するため、外国人向け情報紙を発行する。

また、進路支援事業では、進学のみならず就労に関する情報を子どもと保護者に提供する場として、従来の進路ガイダンスと職業人と語る会を統合した「進路フェア」を昨年に引き続き開催する。

イ 外国籍学生への支援

県内の短期大学、大学および大学院に在籍する私費留学生ならびに県内に在住する外国籍大学生で、経済的援助が必要と認められ、学習意欲が高く、かつ学業成績の優秀な者に対し、奨学金を支給することにより、外国籍学生の生活の安定と学習活動を奨励する。

ウ 多文化共生によるまちづくり

日本人と外国人住民が日頃から互いを助け合えるような顔のみえる関係づくりのために、行政、地域住民および市町の国際交流協会等が連携して、地域の共通課題である防災活動の啓発を行い、多文化共生の地域づくりを推進する。

(5) 情報の収集および提供

県内の国際交流、国際協力に関する情報誌を発行するとともに、ホームページやfacebook、国際情報サロンを活用した情報発信を行う。また、スマートフォンやタブレットなどのマルチデバイスに対応した情報発信の強化に努める。

(6) 海外渡航の支援

海外の安全情報や渡航に関する情報等を県民に提供する。また、パスポート用の写真撮影を行う。

(7) ボランティア活動の促進

国際交流、国際協力および多文化共生の地域づくりに関するボランティアの活動を促進する。

(8) 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

地域に根ざした国際交流を推進するため、県民の国際交流ボランティアへの参画を促進し、滋賀県国際交流推進協議会事業を通して市民活動団体とのネットワーク強化に努める。

収 支 予 算 書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,451	4,446	△	995
特定資産運用益	3,003	3,003		—
受取会費	2,220	2,150		70
事業収益	25,591	23,269		2,322
受取補助金等	50,940	50,104		836
受取負担金	2,670	2,170		500
受取受託金	46,641	73,175	△	26,534
受取寄付金	160	200	△	40
雑収益	6	5		1
経常収益計	134,682	158,522	△	23,840
(2) 経常費用				
事業費	128,109	150,967	△	22,858
管理費	9,127	8,543		584
経常費用計	137,236	159,510	△	22,274
(うち人件費)	52,457	52,405		52
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,554	△ 988	△	1,566
評価損益等計	—	—		—
当期経常増減額	△ 2,554	△ 988	△	1,566
当期一般正味財産増減額	△ 2,554	△ 988	△	1,566
一般正味財産期首残高	14,781	15,769	△	988
一般正味財産期末残高	12,227	14,781	△	2,554
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	3,279	4,359	△	1,080
特定資産運用益	2,989	2,989		—
一般正味財産への振替額	△ 6,454	△ 7,449		995
過年度修正額	65	—		65
当期指定正味財産増減額	△ 121	△ 101	△	20
指定正味財産期首残高	722,794	722,895	△	101
指定正味財産期末残高	722,673	722,794	△	121
III 正味財産期末残高	734,900	737,575	△	2,675

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	3,047	—	404	—	3,451
特定資産運用益	3,003	—	—	—	3,003
受取会費	1,110	—	1,110	—	2,220
事業収益	115	25,476	—	—	25,591
受取補助金等	43,335	348	7,257	—	50,940
受取負担金	20	2,500	150	—	2,670
受取受託金	46,641	—	—	—	46,641
受取寄付金	160	—	—	—	160
雑収益	4	1	1	—	6
経常収益計	97,435	28,325	8,922	—	134,682
(2) 経常費用					
事業費	104,901	23,208	—	—	128,109
管理費	—	—	9,127	—	9,127
経常費用計	104,901	23,208	9,127	—	137,236
(うち人件費)	43,083	2,759	6,615	—	52,457
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 7,466	5,117	△ 205	—	△ 2,554
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 7,466	5,117	△ 205	—	△ 2,554
他会計振替額	4,706	△ 4,706	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 2,760	411	△ 205	—	△ 2,554
一般正味財産期首残高	1,908	7,946	4,927	—	14,781
一般正味財産期末残高	△ 852	8,357	4,722	—	12,227
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	2,895	—	384	—	3,279
特定資産運用益	2,989	—	—	—	2,989
一般正味財産への振替額	△ 6,050	—	△ 404	—	△ 6,454
過年度修正額	33,950	—	△ 33,885	—	65
当期指定正味財産増減額	33,784	—	△ 33,905	—	△ 121
指定正味財産期首残高	638,234	—	84,560	—	722,794
指定正味財産期末残高	672,018	—	50,655	—	722,673
III 正味財産期末残高	671,166	8,357	55,377	—	734,900

資金調達および設備投資の見込みについて

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

平成29年度事業報告

公益財団法人 滋賀県国際協会

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、平成29年度には、より身近に国際交流を感じてもらうため、子ども向け体験プログラムを行ったほか、外国にルーツを持つ青少年の進路選択の一助となるよう進路フェアを開催した。その他、地域における外国人住民に対し多岐にわたる支援に努め、行政、市民活動団体間の連携を促進し、外国人住民が地域の一員として生活しやすい共生社会づくりに努めた。

また、学校教育や社会教育で行われる国際教育を推進するため、国際教育に関する実践例や教材等の情報提供に努めるとともに、人材の育成に取り組んだ。

1 地域での国際教育の推進

- | | | | | |
|--|-----------|-----|---------|---------|
| (1) 国際教育研究会「 <small>ぐろーかる</small> <small>ねっと</small> <small>ししが</small> 」の開催 | 研究会議 | 11回 | 参加者 | 延べ 111人 |
| (2) 国際教育教材体験フェアの開催 | 6月25日 | 大津市 | 参加者 | 49人 |
| (3) 国際教育ファシリテーター養成講座の開催 | 3月3日 | 大津市 | 参加者 | 41人 |
| (4) 国際教育オリジナル教材の貸出および販売 | | | | |
| ア 「ブラジルボックス」の貸出 | 25件 | | | |
| イ 「非識字体験ゲーム」の貸出 | 1件、販売18件 | | | |
| ウ 「言葉がわからない体験ゲーム（震災編）」の貸出 | 2件、販売54件 | | | |
| エ 「わたしん家の食事から <small>ち</small> カードゲーム版」の貸出 | 6件、販売8件 | | | |
| (5) 国際教育研修等への講師派遣 | 25件、延べ48人 | 参加者 | 約2,850人 | |

2 国際交流の推進

- (1) 姉妹友好州省および友好地域との交流
 - ア ミシガン州友好親善使節団の受入 期間 9月9日～13日（うちホームステイ4泊5日）受入人員 27人
 - イ 滋賀県・ミシガン州姉妹友好交流50周年事業への協力
記念モニュメント除幕式および記念植樹、記念式典およびレセプション
- (2) ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）の管理運営
 - ア 施設の維持管理
 - イ 日本センター運営の支援
 - (ア) ミシガン州からの留学生を対象とした関連プログラム（日本語・日本文化講座）の運営支援
 - (イ) 県民向け英語プログラムの運営支援（南草津教室、彦根教室、土曜子ども英語教室など）
 - (ウ) 日本センターを利用した地域との交流プログラムの実施
 - (エ) その他プログラム（夏期特別プログラム等）の運営支援
- (3) 裾野を広げる国際交流
 - ア 身近な異文化体験「子ども多文化体験プログラム」の実施 4月30日 大津市 参加者 48人
（びわ湖ホール主催「ラ・フォル・ジュルネびわ湖2017「キッズプログラム」」の一つとして開催）
 - イ 外国人アーティスト絵画展 in ピアザ淡海

年1回 参加アーティスト2人（ブラジル）

3 国際協力の促進

(1) 海外技術協力の推進

海外技術研修員の受入 2人（中国、ブラジル） 研修期間4カ月

4 多文化共生の地域づくり

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人相談窓口の設置 月曜日～金曜日（タガログ語・英語は月曜日～木曜日） 10:00～17:00

対応言語：ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語 相談件数 698件

イ 外国人のための手づくり情報紙「みみタロウ」の発行 年4回 8言語 20,000部/回

ウ 相談員研修会・連絡会議の開催 1月22日、2月21日 大津市 参加者 延べ 68人

エ 外国人にルーツを持つ子どもへの教育支援

(ア) 進路フェアの開催 7月30日 近江八幡市 参加者 98人

(イ) 子どもへの日本語指導者養成講座 9月24日 大津市 参加者 21人

オ 日本語指導者養成講座の開催（びわこ日本語ネットワークとの共催）

8月20日、9月3日、10日 野洲市 参加者 70人

カ 災害時の外国人支援

(ア) 近畿地域国際化協会連絡協議会災害時外国人支援研究会への参画 4回

(イ) 消防職員への外国人対応に関する研修会への講師派遣 2件 参加者 68人

キ 多文化共生に関する研修等への講師派遣 8件 参加者 188人

(2) 外国籍学生への支援

外国籍学生への奨学金の支給 支給人員 13人 支給額 月額20,000円

(3) 多文化共生によるまちづくり

ア 防災から広げる共生のまちづくり事業

滋賀県総合防災訓練での防災啓発 9月10日 草津市

彦根人権のまちづくりフェスタでの防災啓発 9月30日 彦根市

長浜市「防災すごろくゲーム」開発等協力 1月13日 長浜市

イ 多文化共生に関する情報提供およびアドバイス等 相談対応 148件

5 情報の収集および提供

(1) 国際交流・協力情報誌「S I A しーあ」の発行 年3回 日本語 2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 年12回

(3) インターネット・ホームページおよびfacebookによる情報提供

(4) 国際情報サロンによる情報提供

6 海外渡航の支援

(1) 渡航相談、海外情報の提供

(2) パスポート用写真撮影 撮影時間 月曜日～金曜日 9:00～16:30

7 ボランティア活動の促進

- (1) 滋賀県国際協会ボランティア“^{しーあ}S I Aボランティア”の登録および活動促進 登録者 延べ 254人
(通訳、翻訳、ホームビジット、ホームステイ、国際交流支援)
- (2) 災害時外国人サポーターの登録および活動促進 登録者 102人

8 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

- (1) 滋賀県国際交流推進協議会（69団体加盟）の開催 全体会議等3回、研修会3回
- (2) 国際交流推進セミナーの開催 7月12日 大津市 参加者 35人

正味財産増減計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,290,222	7,106,814	△ 1,816,592
特定資産運用益	3,000,517	3,001,294	△ 777
受取会費	2,130,150	2,152,850	△ 22,700
事業収益	25,527,006	25,343,715	183,291
受取補助金等	49,266,611	49,029,791	236,820
受取負担金	2,249,088	1,366,100	882,988
受取受託金	70,608,966	48,807,073	21,801,893
受取寄付金	119,500	216,566	△ 97,066
雑収益	309,043	165,016	144,027
経常収益計	158,501,103	137,189,219	21,311,884
(2) 経常費用			
事業費	146,677,645	128,614,824	18,062,821
管理費	7,655,152	7,991,278	△ 336,126
経常費用計	154,332,797	136,606,102	17,726,695
(うち人件費)	50,289,283	50,872,849	△ 583,566
評価損益等調整前当期経常増減額	4,168,306	583,117	3,585,189
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	4,168,306	583,117	3,585,189
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	-	6,763	△ 6,763
経常外費用計	-	6,763	△ 6,763
当期経常外増減額	-	△ 6,763	6,763
当期一般正味財産増減額	4,168,306	576,354	3,591,952
一般正味財産期首残高	39,834,506	39,258,152	576,354
一般正味財産期末残高	44,002,812	39,834,506	4,168,306
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	5,140,788	7,011,184	△ 1,870,396
特定資産運用益	2,986,417	2,987,194	△ 777
一般正味財産への振替額	△ 8,290,739	△ 10,108,108	1,817,369
当期指定正味財産増減額	△ 163,534	△ 109,730	△ 53,804
指定正味財産期首残高	723,022,935	723,132,665	△ 109,730
指定正味財産期末残高	722,859,401	723,022,935	△ 163,534
III 正味財産期末残高	766,862,213	762,857,441	4,004,772

正味財産増減計算書内訳表

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	4,671,266	—	618,956	—	5,290,222
特定資産運用益	3,000,517	—	—	—	3,000,517
受取会費	1,065,075	—	1,065,075	—	2,130,150
事業収益	140,748	25,386,258	—	—	25,527,006
受取補助金等	42,579,187	347,070	6,340,354	—	49,266,611
受取負担金	99,088	2,000,000	150,000	—	2,249,088
受取受託金	70,608,966	—	—	—	70,608,966
受取寄付金	119,500	—	—	—	119,500
雑収益	306,279	107	2,657	—	309,043
経常収益計	122,590,626	27,733,435	8,177,042	—	158,501,103
(2) 経常費用					
事業費用	124,491,328	22,186,317	—	—	146,677,645
管理費用	—	—	7,655,152	—	7,655,152
経常費用計	124,491,328	22,186,317	7,655,152	—	154,332,797
(うち人件費)	42,638,664	1,906,270	5,744,349	—	50,289,283
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 1,900,702	5,547,118	521,890	—	4,168,306
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 1,900,702	5,547,118	521,890	—	4,168,306
他会計振替額	2,657,133	△ 2,657,133	—	—	—
当期一般正味財産増減額	756,431	2,889,985	521,890	—	4,168,306
一般正味財産期首残高	27,998,264	6,481,367	5,354,875	—	39,834,506
一般正味財産期末残高	28,754,695	9,371,352	5,876,765	—	44,002,812
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	4,539,316	—	601,472	—	5,140,788
特定資産運用益	2,986,417	—	—	—	2,986,417
一般正味財産への振替額	△ 7,671,783	—	△ 618,956	—	△ 8,290,739
当期指定正味財産増減額	△ 146,050	—	△ 17,484	—	△ 163,534
指定正味財産期首残高	673,550,851	—	49,472,084	—	723,022,935
指定正味財産期末残高	673,404,801	—	49,454,600	—	722,859,401
III 正味財産期末残高	702,159,496	9,371,352	55,331,365	—	766,862,213

貸 借 対 照 表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	29,114,139	21,051,528	8,062,611
未 収 金	554,355	883,748	△ 329,393
預 託 金	11,440	11,440	-
立 替 金	5,191	6,389	△ 1,198
流動資産合計	29,685,125	21,953,105	7,732,020
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
普 通 預 金	258,589	258,589	-
定 期 預 金	30,754,994	13,248,674	17,506,320
投 資 有 価 証 券	405,182,556	422,838,310	△ 17,655,754
基本財産合計	436,196,139	436,345,573	△ 149,434
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	23,387,530	21,049,153	2,338,377
減 価 償 却 引 当 資 産	4,816,507	4,600,668	215,839
び わ こ 奨 学 金 基 金	300,170,525	300,184,625	△ 14,100
び わ こ 奨 学 金 基 金 積 立 資 産	5,178,000	5,178,000	-
協 会 40 周 年 準 備 資 金 積 立 資 産	1,200,000	1,000,000	200,000
寄 付 金 (指 定 : 協 会 職 員 研 修)	356,778	497,862	△ 141,084
特定資産合計	335,109,340	332,510,308	2,599,032
(3) そ の 他 固 定 資 産			
車 両 運 搬 具	123,777	248,297	△ 124,520
什 器 備 品	158,027	358,608	△ 200,581
その他固定資産合計	281,804	606,905	△ 325,101
固定資産合計	771,587,283	769,462,786	2,124,497
資産合計	801,272,408	791,415,891	9,856,517
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	10,447,787	7,271,534	3,176,253
預 り 金	574,878	237,763	337,115
流動負債合計	11,022,665	7,509,297	3,513,368
2 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	23,387,530	21,049,153	2,338,377
固定負債合計	23,387,530	21,049,153	2,338,377
負債合計	34,410,195	28,558,450	5,851,745
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
寄 付 金	722,859,401	723,022,935	△ 163,534
指定正味財産合計	722,859,401	723,022,935	△ 163,534
(うち基本財産への充当額)	(422,688,876)	(422,838,310)	(△ 149,434)
(うち特定資産への充当額)	(300,170,525)	(300,184,625)	(△ 14,100)
2 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	44,002,812	39,834,506	4,168,306
(うち特定資産への充当額)	(13,507,263)	(13,507,263)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(11,551,285)	(11,276,530)	(274,755)
正味財産合計	766,862,213	762,857,441	4,004,772
負債及び正味財産合計	801,272,408	791,415,891	9,856,517

貸借対照表内訳表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	14,135,075	11,278,711	3,700,353	—	29,114,139
未収金	373,773	180,582	—	—	554,355
預託金	11,440	—	—	—	11,440
立替金	5,191	—	—	—	5,191
流動資産合計	14,525,479	11,459,293	3,700,353	—	29,685,125
2 固定資産					
(1) 基本財産					
普通預金	228,334	—	30,255	—	258,589
定期預金	27,156,660	—	3,598,334	—	30,754,994
投資有価証券	357,776,197	—	47,406,359	—	405,182,556
基本財産合計	385,161,191	—	51,034,948	—	436,196,139
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	21,029,828	—	2,357,702	—	23,387,530
減価償却引当資産	4,252,976	—	563,531	—	4,816,507
びわこ奨学金基金	300,170,525	—	—	—	300,170,525
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	—	—	—	5,178,000
協会40周年準備資金積立資産	1,200,000	—	—	—	1,200,000
寄付金(指定:協会職員研修)	356,778	—	—	—	356,778
特定資産合計	332,188,107	—	2,921,233	—	335,109,340
(3) その他固定資産					
車両運搬具	89,119	14,853	19,805	—	123,777
什器備品	76,423	64,621	16,983	—	158,027
その他固定資産合計	165,542	79,474	36,788	—	281,804
固定資産合計	717,514,840	79,474	53,992,969	—	771,587,283
資産合計	732,040,319	11,538,767	57,693,322	—	801,272,408
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	8,276,117	2,167,415	4,255	—	10,447,787
預り金	574,878	—	—	—	574,878
流動負債合計	8,850,995	2,167,415	4,255	—	11,022,665
2 固定負債					
退職給付引当金	21,029,828	—	2,357,702	—	23,387,530
固定負債合計	21,029,828	—	2,357,702	—	23,387,530
負債合計	29,880,823	2,167,415	2,361,957	—	34,410,195
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
寄付金	673,404,803	—	49,454,598	—	722,859,401
指定正味財産合計	673,404,803	—	49,454,598	—	722,859,401
(うち基本財産への充当額)	(373,234,278)	(—)	(49,454,598)	(—)	(422,688,876)
(うち特定資産への充当額)	(300,170,525)	(—)	(—)	(—)	(300,170,525)
2 一般正味財産	28,754,693	9,371,352	5,876,767	—	44,002,812
(うち基本財産への充当額)	(11,926,913)	(—)	(1,580,350)	(—)	(13,507,263)
(うち特定資産への充当額)	(10,987,754)	(—)	(563,531)	(—)	(11,551,285)
正味財産合計	702,159,496	9,371,352	55,331,365	—	766,862,213
負債及び正味財産合計	732,040,319	11,538,767	57,693,322	—	801,272,408